



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マキヤ

コード番号 9890 URL <https://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 早川 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長兼経理・財務部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	57,723	7.4	1,812	33.5	1,922	28.3	1,308	29.8
2023年3月期第3四半期	53,724	3.7	1,357	△1.5	1,498	1.4	1,008	△9.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,490百万円 (40.7%) 2023年3月期第3四半期 1,059百万円 (△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	131.05	-
2023年3月期第3四半期	101.00	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	36,774	19,096	51.9	1,912.84
2023年3月期	33,499	17,780	53.1	1,781.07

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 19,096百万円 2023年3月期 17,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	7.50	-	7.50	15.00
2024年3月期	-	10.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,100	5.9	2,130	30.2	2,300	26.9	1,470	23.8	147.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,540,200株	2023年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	556,908株	2023年3月期	556,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,983,292株	2023年3月期3Q	9,983,345株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行等により、サービス消費やインバウンド消費が正常化し緩やかに回復しているものの、依然として地政学的リスクや海外経済の減速等の懸念もあり、先行きの不透明な状況で推移しております。

当小売業界におきましては、地方で深刻化する「少子高齢化と人口減少」、社会保障費負担等の増加やインフレ物価高による「可処分所得の減少」、競合店の出店やeコマースの拡大等による「価格競争の激化」、原料供給側に起因するコストプッシュ型のインフレによる「消費者マインドの低下」等、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様の「毎日の生活」を、より豊かに、楽しく、健康で、快適にする、「より良い商品」を、「安心の価格(価値価格の安さ)」と「温かいサービス」でご提供し、社会に貢献する、「働き易い、高収益企業」になるという中長期基本方針の実現のために、中長期経営改革プロジェクト『MAP3』(Makiya-group Advancing Profit 3)を立案し、その経営改革目標(「ロス額」削減、「値入率」の改善、「生産性」の改善)の達成のため、①「商品力・品揃え」の徹底強化、②「安心安価(ELP)」の実践とPB(プライベートブランド)・LB(ローカルブランド)の販売強化、③「ロス額」削減と「過剰在庫・死に筋在庫」の撲滅、④「品薄・欠品」の撲滅とボリューム陳列、⑤「作業改革」で「働き方」改革の推進、を重点実践テーマとし、経営基盤の強化と企業価値の向上に取り組んでおります。

また、当社グループは、持続可能な社会の実現を目指し、サステナビリティ推進委員会を設置し、サステナビリティに関する諸課題の解決に取り組んでおります。環境問題につきましては、循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた「環境への負荷低減」を最重要課題の1つとして捉え、事業活動における資源の有効活用、省力化及び効率化を図っております。

2023年11月には、地域社会への貢献活動の継続した取り組みとして、静岡市に福祉車両1台を寄贈いたしました。当社グループは、2012年度から当社店舗が所在する自治体や障害福祉施設などに福祉車両をはじめ、環境、福祉関連品などを寄贈させていただいており、通算11回目の寄贈となります。

なお、当第3四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
改 装	エスポット湯河原店 (神奈川県足柄下郡湯河原町)	2023年10月	売場最新化
開 店	業務スーパー清水町徳倉店 (静岡県駿東郡清水町)	2023年10月	新規開店
開 店	業務スーパー浜松芳川店 (静岡県浜松市中央区)	2023年11月	新規開店

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は58,193百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は1,812百万円(前年同期比33.5%増)、経常利益は1,922百万円(前年同期比28.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,308百万円(前年同期比29.8%増)と増収増益となりました。

また、来店客数の前年同期比は2.9%増、客単価の前年同期比は4.1%増となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①小売業

営業収益は57,880百万円(前年同期比7.4%増)となりました。これは食品等の値上げ、ELPの実践による価格戦略、PB・LB商品の販売強化等によるものであり、「フード(食品)」部門につきましては、「エスポット(フード)」、「ポテト・マミー」、「業務スーパー」の全ての業態で好調に推移し、生鮮食品、日配食品、加工食品のいずれも引き続き前年同期を上回り、前年同期比9.0%増となりました。「ノンフード(非食品)」部門につきましても、HBC(ヘルス&ビューティーケア)商品及びリユース事業が順調に推移し、前年同期比1.4%増となりました。

営業利益は1,980百万円(前年同期比27.6%増)となりました。これは売上高の増加に伴う売上総利益額の増加と、経費面においては給与のベースアップ等による人件費コストの増加があったものの、「作業改革」により生産性が向上したこと、電力消費量の削減対策及び政府の激変緩和措置等による電力料金単価の引き下げにより水道光熱費が減少したこと等により経費率が0.9%改善したこと等によるものであります。

②不動産賃貸事業

営業収益は312百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益は115百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は36,774百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,274百万円増加いたしました。

流動資産は12,588百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,693百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が2,235百万円増加したほか、売掛金が616百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は24,185百万円となり、前連結会計年度末と比較して581百万円増加いたしました。これは、新規出店等により有形固定資産が258百万円、投資その他の資産のその他が214百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は17,678百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,959百万円増加いたしました。

流動負債は12,559百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,693百万円増加いたしました。これは、季節要因による仕入高の増加により買掛金が1,285百万円増加したほか、流動負債のその他が343百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,118百万円となり、前連結会計年度末と比較して266百万円増加いたしました。これは、固定負債のその他が135百万円、長期借入金が100百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は19,096百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,315百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が1,133百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期における通期の業績予想につきましては、2023年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,364,250	4,599,463
売掛金	1,411,423	2,027,483
商品	5,623,448	5,619,183
その他	496,698	342,876
貸倒引当金	△178	△245
流動資産合計	9,895,641	12,588,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,092,442	9,217,854
土地	7,989,786	7,989,786
その他(純額)	1,069,357	1,202,016
有形固定資産合計	18,151,586	18,409,657
無形固定資産	963,742	878,045
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,937,242	3,133,213
その他	1,551,442	1,765,915
貸倒引当金	—	△1,000
投資その他の資産合計	4,488,685	4,898,128
固定資産合計	23,604,014	24,185,831
資産合計	33,499,656	36,774,591
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,597,484	6,882,641
短期借入金	1,834,105	1,940,233
未払法人税等	392,128	357,453
契約負債	797,528	779,894
賞与引当金	150,982	161,610
役員賞与引当金	4,972	4,856
その他	2,088,932	2,432,468
流動負債合計	10,866,133	12,559,157
固定負債		
長期借入金	2,423,898	2,524,121
退職給付に係る負債	615,433	626,729
役員退職慰労引当金	104,840	111,580
資産除去債務	626,891	639,232
その他	1,081,508	1,217,251
固定負債合計	4,852,571	5,118,914
負債合計	15,718,705	17,678,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	15,594,786	16,728,466
自己株式	△446,350	△446,350
株主資本合計	17,430,383	18,564,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369,318	542,994
退職給付に係る調整累計額	△18,750	△10,539
その他の包括利益累計額合計	350,568	532,455
純資産合計	17,780,951	19,096,519
負債純資産合計	33,499,656	36,774,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	53,724,773	57,723,229
売上原価	41,456,631	44,758,837
売上総利益	12,268,142	12,964,392
営業収入		
不動産賃貸収入	486,169	470,601
営業総利益	12,754,312	13,434,993
販売費及び一般管理費	11,396,405	11,622,835
営業利益	1,357,906	1,812,158
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	12,134	16,006
投資有価証券売却益	15,102	—
受取手数料	57,292	52,343
リサイクル収入	33,814	33,683
事業譲渡益	33,000	—
その他	35,236	50,808
営業外収益合計	186,599	152,856
営業外費用		
支払利息	14,369	15,356
株主優待費用	15,186	17,329
その他	16,517	9,620
営業外費用合計	46,073	42,305
経常利益	1,498,432	1,922,709
税金等調整前四半期純利益	1,498,432	1,922,709
法人税、住民税及び事業税	450,845	593,332
法人税等調整額	39,202	20,989
法人税等合計	490,047	614,322
四半期純利益	1,008,384	1,308,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008,384	1,308,387

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,008,384	1,308,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,273	173,676
退職給付に係る調整額	11,635	8,211
その他の包括利益合計	50,908	181,887
四半期包括利益	1,059,293	1,490,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,059,293	1,490,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。